

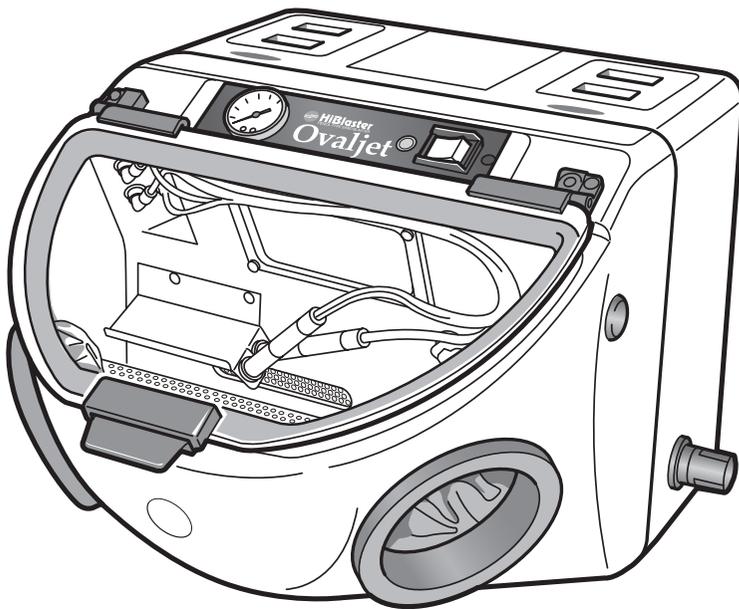


安全にお使いいただくために、
取扱説明書をよくお読みください。

ハイブラスター オーバルジェット LED

2槽式ペンシルタイプサンドブラスター

取扱説明書



SHOFU INC.

はじめに

このたびは、「オーバルジェット」をご購入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は「オーバルジェット」の正しい取り扱い方と、日常の点検および注意について説明しています。

本器の性能を十分に発揮させ、また常に良好な状態を保っていただくため、ご使用になる前には本書をよくお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後もいつでも見られるところに大切に保管してください。

もくじ

はじめに	ii
研磨材の用途	iv
1 安全にお使いいただくために	1
警告表示について	1
その他の表示について	1
「設置と接続」について	2
「使用上」について	3
「保守・点検」について	4
2 各部の名称とはたらき	5
本 体	5
作業室	6
背 面	7
付属品	8
3 設置と接続のしかた	9
4 使用方法	11
5 保守・点検	13
使用済み研磨材の排出	13
ダストボックスの清掃	13
エアフィルターの水抜き	14
ノズルとハンドピースの交換	14
シリカゲルの交換	15
照明ランプの交換	15
ゴム手袋の交換	15
本体の清掃	16
6 異常を感じたら	17
7 仕様	18
8 交換部品	19
9 保証について	19

研磨材の用途

● ガラスビーズ：緑のハンドピース

- ・ 軟質合金鑄造体からの埋没材、酸化被膜の除去
- ・ 軟質合金表面の研磨
- ・ 鑄造冠の内面の研磨
- ・ 陶材用耐火模型材の除去

● ハイアルミナ：赤のハンドピース

- ・ 硬質合金鑄造体からの埋没材、酸化被膜の除去
- ・ メタルボンド用金属冠の焼き付け面の前処理
- ・ メタルボンド用金属冠からの陶材の除去

1 安全にお使いいただくために

本器を安全にお使いいただくために、以下の事項を必ず守ってください。

警告表示について

本書では、安全に関する重要な注意事項を「警告」、「注意」に分類して説明しています。必ず各内容をよくお読みのうえ、厳守してください。各警告表示の内容は次のように定義されています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを表しています。
---	---

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。
---	---

その他の表示について

警告表示以外については、下記のとおりです。



- ・ この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、器械が正常に作動しない可能性があることを表しています。



- ・ この表示は、使用時の作業をわかりやすくするための補足説明を表しています。

「設置と接続」について

警告

- 電源コードのプラグに付属しているアース線を使用して、必ず接地を施すこと。
万一本器内部で漏電した場合、感電や火災のおそれがあります。
 - 本器の集塵器用コンセントに集塵器を接続する場合は、電源コンセントの容量を10A以上確保すること。
容量が不足していると、加熱による発火を招くことがあります。
-

注意

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理な力を加えたりしないこと。
また、重い物を載せたりはさみ込んだりしないこと。
電源コードが破損し、感電や火災のおそれがあります。
 - 通風・換気の良好な場所で使用すること。
 - 本器に供給するエアの圧力は0.8MPaを超えないこと。
0.8MPaを超える高圧を加えると、チューブなどの破裂により傷害を受けることがあります。
 - 集塵器を接続しない場合は、本器の吸気口のゴムキャップを取り外さないこと。
飛散した研磨材・粉塵などによって、目・鼻・口に傷害を受けます。
 - 本器の左右にゴム手袋を取り付けた状態で集塵器で吸塵するときは、必ず本器の吸気口のゴムキャップを取り外すこと。
強力な集塵器を使用した場合、強制排気によって作業室が極端な減圧状態になり、ゴム手袋が膨れたり、照明窓のガラスが割れたりして、けがをするおそれがあります。
-

「使用上」について

警告

- 研磨材を噴射させるときは、あらかじめ必ず覗き窓を閉めること。
飛散した研磨材・粉塵などによって、目・鼻・口に傷害を受けます。
-

注意

- 粉塵などが目・鼻・口に入らないよう、防塵めがね・マスク等の保護具を着用して作業を行うことをお勧めします。
 - 研磨作業後、粉塵がおさまるまで覗き窓を開けないこと。
飛散した研磨材・粉塵などによって、目・鼻・口に傷害を受けます。
 - ノズルの先を閉じて研磨材タンクに逆噴射させるときは、必ずタンクのフタを閉めておくこと。
飛散した研磨材・粉塵などによって、目・鼻・口に傷害を受けます。
 - 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜くこと。
けがややけど、絶縁劣化による感電や火災のおそれがあります。
 - 使用後は電源スイッチを切ること。また、長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜くこと。
絶縁劣化による感電や火災のおそれがあります。
 - 長時間使用しないときは、必ずエアーの供給元バルブを閉めること。
 - この取扱説明書に記載の用途以外には使用しないこと。
-

「保守・点検」について

警告

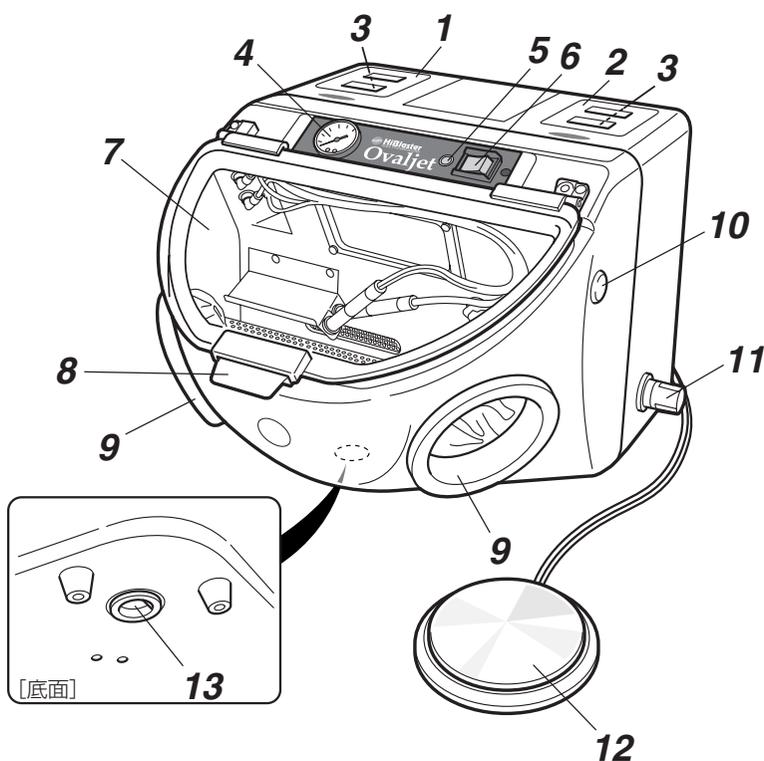
- ランプを交換するときは、電源コードを抜き、ランプが冷えてから行うこと。
感電・火傷の原因になります。
 - ランプを交換するときは、本書に記載された指定ランプを使用すること。
指定以外の照明ランプを使用すると、過熱して火災の原因となります。
 - ヒューズホルダーには、10A を超えるヒューズを使用しないこと。
過電流による火災の原因となります。
 - この取扱説明書の内容以外の分解修理・改造は絶対に行わないこと。
異常動作によるけがや感電、火災のおそれがあります。
-

注意

- スポンジフィルターを目詰まりさせないこと。
目詰まりしたまま長時間使用すると、集塵器の過熱を招き火災の原因となります。
 - 研磨材の排出時やスポンジフィルターの清掃時には、防塵めがね・マスクなどの保護具をつけて作業すること。
飛散した研磨材・粉塵などにより、目・鼻・口に傷害を受けることがあります。
 - 乾燥剤のシリカゲルを加熱再生する場合は、シリカゲルが冷めてから使用すること。
熱くなっているので、火傷の原因になります。
 - 操作・保守点検の管理責任は、使用者側（技工所、医院等）にあります。
-

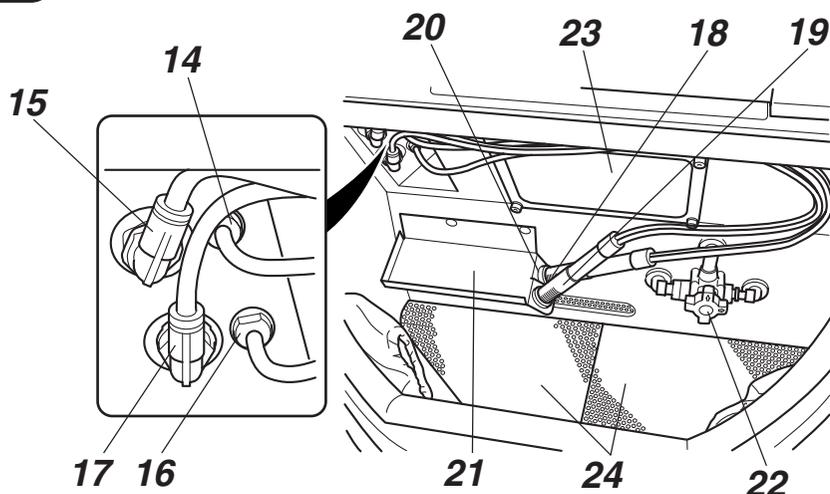
2 各部の名称とはたらき

本 体



- 1 研磨材タンク 左 (ガラスビーズ用)**
専用研磨材 (ガラスビーズ) を入れます。
- 2 研磨材タンク 右 (ハイアルミナ用)**
専用研磨材 (ハイアルミナ) を入れます。
- 3 シリカゲル用バスケット**
シリカゲル用のバスケットが、両方の研磨材タンクのフタの裏につり下げられています。
- 4 圧力計**
研磨材噴射用エアーの圧力を表示します。
- 5 電源ランプ**
本器の電源がONになっているときに点灯します。
- 6 電源スイッチ**
本器のメインスイッチです。
- 7 覗き窓ガラス**
作業室の内部を確認します。内面には、ガラスを保護するためのビニールシートが添付されています。
- 8 取っ手**
覗き窓を開閉します。
- 9 手袋取付用ゴムリング**
作業用の腕抜きやゴム手袋を取り付けます。
- 10 吸気口**
集塵器を使用するときの、空気取入口です。集塵器を使用しないときは、ゴムキャップを取り付けます。
- 11 圧力調節つまみ**
研磨材噴射用エアーの圧力を調節します。
- 12 フットコントローラー**
踏み加減で研磨材の噴射量を調節します。
- 13 研磨材排出口 (底面)**
ゴム栓を外して、使用済みの研磨材を排出します。

作業室



14 ガラスビーズ用コネクター

ガラスビーズ用ハンドピース（緑）の研磨材用チューブを接続します。

15 ガラスビーズ用エアコネクター

ガラスビーズ用ハンドピース（緑）のエア用チューブを接続します。

16 ハイアルミナ用コネクター

ハイアルミナ用ハンドピース（赤）の研磨材用チューブを接続します。

17 ハイアルミナ用エアコネクター

ハイアルミナ用ハンドピース（赤）のエア用チューブを接続します。

18 ガラスビーズ用ハンドピース（ラバー付き）：緑

19 ハイアルミナ用ハンドピース（ラバー付き）：赤

20 ハンドピースホルダー

ハンドピースを使用しないときは、このホルダーに立てておきます。

21 中棚

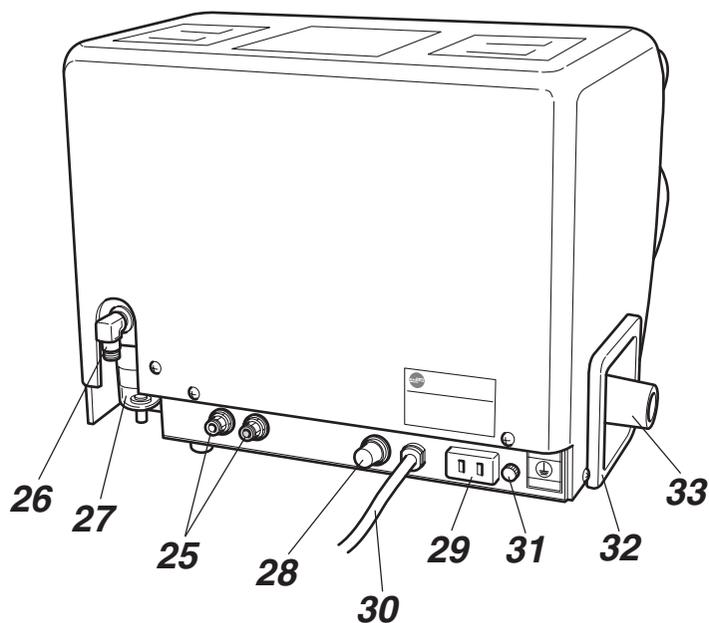
22 研磨材切り替えつまみ

使用する研磨材（ガラスビーズまたはハイアルミナ）を切り替えます。

23 照明窓

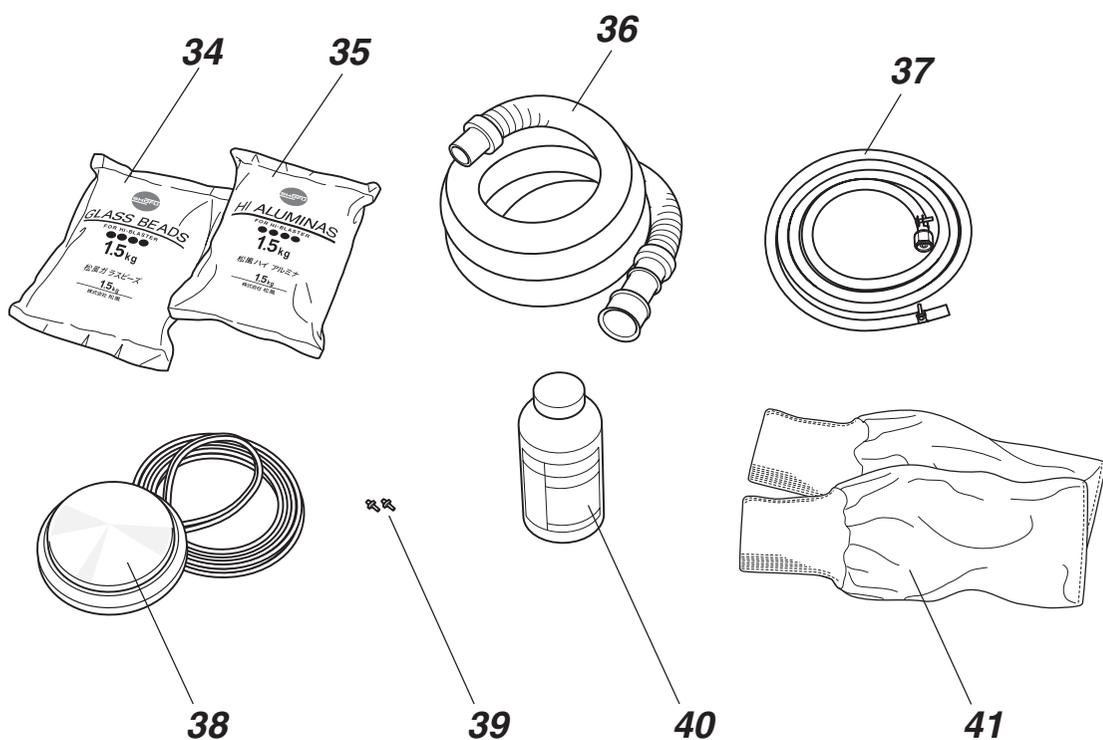
24 底板

背面



- 25** フットコントローラー接続部（白・黒）
フットコントローラーのチューブを接続します。
- 26** エアジョイント
エア供給用の耐圧ホースを接続します。
- 27** エアフィルター
供給されるエアに含まれている粉塵や水分を取り除きます。
- 28** ヒューズボックス（10A）
- 29** 集塵器用コンセント
集塵器の電源プラグを接続します。
- 30** 電源コード
- 31** アース端子
集塵器のアース線を接続します。
- 32** ダストボックス（引き出し式）
スポンジフィルターが収納されており、直接研磨材が排出されることを防ぎます。
- 33** 排気口
排気ホースを接続します。排気ホースの他方は集塵器に接続します。

付属品



- 34** 専用研磨材 ガラスビーズ (1.5kg) : 1 個
- 35** 専用研磨材 ハイアルミナ (1.5kg) : 1 個
- 36** 排気ホース (2m) : 1 本
- 37** 耐圧ホース
(ホースユニオン、ホースバンド付き) : 1 本
- 38** フットコントローラー : 1 個
- 39** スペアノズル
・ガラスビーズ用 : 緑 : 1 個
・ハイアルミナ用 : 赤 : 1 個
- 40** シリカゲル (乾燥剤) 500 g : 1 本
- 41** 腕抜き : 1 双

3 設置と接続のしかた

- 「設置と接続」についての ⚠ 警告 および ⚠ 注意 を守ってください。



注記 [設置場所について]

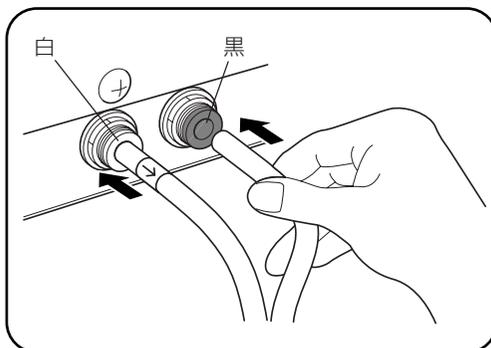
湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、発熱する機器の近くなどには設置しないでください。

1. フットコントローラーの接続

- (1) ラベルが付いたホースを、本体後部の白いコネクタに接続してください。
- (2) 他方のホースを、黒いコネクタに接続してください。



- ・ チューブが抜けないように、コネクタの奥まで確実に差し込んでください。
- ・ チューブを取り外すときは、白または黒のコレットを押しながらチューブを引き抜いてください。



2. 耐圧ホースの接続

- (1) 16 mmのスパナを使って、耐圧ホースのホースユニオンを、接続部にねじ止めしてください。
- (2) 耐圧ホースの他方を技工室のエアラインに接続し、付属のホースバンド等で固定してください。



- ・ エアーの圧力は0.8MPa以下で使用してください。
- ・ エアーは清潔で乾燥したものを使用してください。エアーにごみ、湿気、水、錆びなどが混入していた場合、機器に重大な損傷を与えるおそれがあります。

3. 集塵器の接続

- (1) 付属の排気ホースを、本体側面の排気口に接続してください。
- (2) 排気ホースの他方を、「松風L-クリーナー」などの集塵器に接続してください。



注記 本器の左右にゴム手袋を取り付けて使用するときには、必ず本体右側の吸気口ゴムキャップを取り外してください。

(3) 集塵器の電源プラグを本体背面の集塵器用コンセントに接続し、集塵器の電源スイッチをONにしてください。本体の電源をONにすると、自動的に集塵器が稼働します。



注記

- ・ 集塵器用コンセントの容量は最大800VAです。必ず800VA以下の機器をご使用ください。
- ・ 集塵器の電源コードにアース線が付属している場合は、必ず本体後部のアース端子に接続してください。



参考

集塵器は、吸引力が調節できる「松風L-クリーナー」のご使用をお勧めします。

4. 電源コードの接続

(1) ~ (3) のすべての接続が終わったら、電源プラグをコンセントに接続し、必ず接地を施してください。



注記

集塵器を使用している場合は、集塵器の電気容量を考慮して10A以上のコンセントを使用してください。

5. 研磨材・シリカゲルの準備

(1) ラベルの表示に従って、研磨材タンクに付属の研磨材を投入してください。



注記

- ・ 異なった種類の研磨材を混ぜないでください。また、ごみが混入しないように注意してください。
- ・ 研磨材タンクに入れる研磨材の種類を間違えないでください。故障の原因になります。
- ・ 電源スイッチの上に研磨材をこぼさないでください。故障の原因になります。
- ・ 補充は必ず松風の専用研磨材を使用してください。一般の研磨材を使用すると、ノズルの消耗を早めたり、目詰まりを生じ、故障の原因になります。

(2) 付属のシリカゲルを各研磨材タンクのフタに付いているシリカゲル用バスケットに適量入れて、フタをしてください。



注記

防湿のため、研磨材タンクのフタは常に閉めてください。

●手袋について

本器には、「ゴム手袋」が標準装備されています。ゴム手袋を付属の「腕抜き」に付け換える場合は「5 保守・点検」の「ゴム手袋の交換」の項を参照してください。

4 使用方法

● 「使用上」についての **⚠ 警告** および **⚠ 注意** を守ってください。

1. エアーの元バルブを開け、電源スイッチを ON にしてください。
電源ランプと作業室の照明が点灯します。集塵器用コンセントに集塵器が接続されている場合は、集塵器も連動します。

2. 取っ手を持って覗き窓を開けて、鑄造冠などの被研磨物を作業室の中棚に置いてください。



- ・ 覗き窓の開閉は、無理な力を加えずに丁寧に行なってください。
- ・ 粉塵などが目・鼻・口に入らないようにするため、防塵めがね・マスク等の保護具を着用して作業を行うことをお勧めします。

3. 覗き窓を閉めてください。

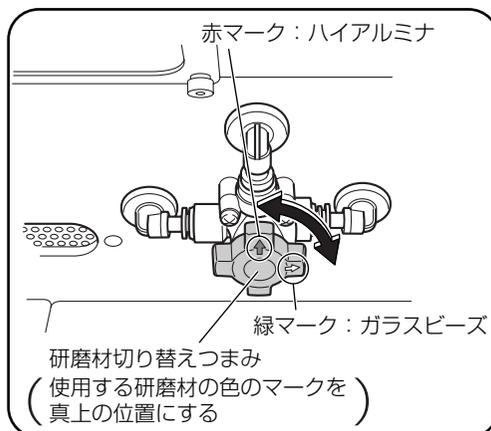
取っ手のフックがかかるまで、取っ手ベースを確実に押してください。

4. ゴム手袋に手を入れてください。

5. 研磨材切り替えつまみで、研磨材を選択してください。



- ・ 研磨材切り替えつまみは、1/4 回転以上は回りません。無理に回さないように注意してください。



6. 選択した研磨材用のハンドピースを持ち、フットコントローラーを踏んで研磨材を噴射させてください。

- ・ 被研磨体からハンドピースのノズル先端までの距離を 5 mm～20 mm 程度に保って作業を行なってください。
- ・ フットコントローラーの踏み加減で、噴射力を調節できます。強く踏むと噴射力も強くなります。



- ・ 作業室の壁、覗き窓、ハンドピース、チューブなどに、故意に研磨材を吹き付けしないでください。穴が開いたり傷が付き、けがや故障の原因になるおそれがあります。
- ・ ノズルの先端に衝撃を与えないでください。故障の原因になるおそれがあります。

7. 研磨作業が終了したら、作業室内の粉塵がおさまってから覗き窓を開けて被研磨体を取り出してください。

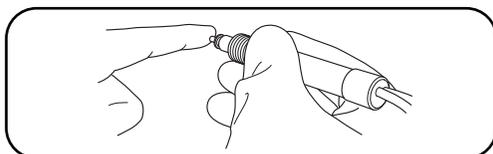
8. 使用後は、エアーの元バルブを閉めてからフットコントローラーを踏み、残留エアーを取り除いてください。

9. 電源スイッチを OFF にしてください。

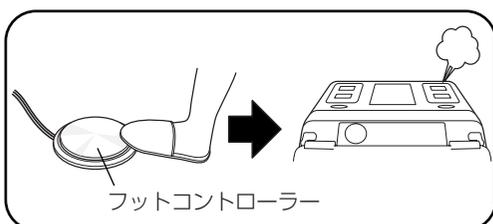
● 研磨材が噴射しないときは

作業中に研磨材が噴射しなくなったときは、次の手順に従って対処してください。

1. ハンドピースの先端のノズルやハンドピース内部に異物が詰まっていないか、確認してください。詰まっているときは異物を取り除いてください。詰まっていないときは手順2.に進んでください。
2. ノズルを指先で押さえてふさいでください。



3. フットコントローラーを1～2秒間踏んでください。
エアーがタンク内に逆流し（逆噴射）、タンク内の研磨材が攪拌されます。



注記

- ・ 逆噴射は短時間（1～2秒）にしてください。
- ・ 逆噴射させた後も研磨材が噴射しないときは、タンク内の研磨材の残量が少なくなっています。新しい研磨材を追加してください。
- ・ ノズルが摩耗すると研磨材の噴射が弱くなります。必要に応じて新品と交換してください。

使用上のポイント

覗き窓ガラス

覗き窓の内面には、ガラスを保護するためにビニールシートが貼り付けてありますが、ノズルはガラスから離して使い、直接ガラスに噴射させないでください。

ハンドピース（ラバー付き）

使用後は操作の邪魔にならないように、中棚のハンドピースホルダーに立ててください。

ノズル

ノズルは、近づけるほど集中的に強い研磨力を発揮します。また、遠ざけると研磨力は低下しますが、広い範囲を研磨できます。通常は5mm～20mmの距離で使用してください。効率良く研磨するため、ノズルは直角ではなく斜めから噴射させてください。

使用空気圧

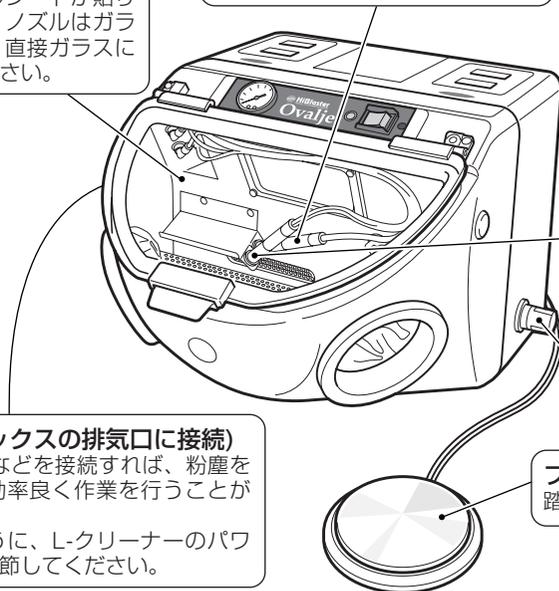
0.4～0.6MPaの範囲で必要に応じて調節してお使いください。空気圧は、圧力調整つまみを反時計方向に回すと減少します。

集塵器（ダストボックスの排気口に接続）

松風L-クリーナーなどを接続すれば、粉塵をすばやく吸引し、効率良く作業を行うことができます。吸引し過ぎないように、L-クリーナーのパワーを必要に応じて調節してください。

フットコントローラー

踏み加減で噴射力を調節できます。



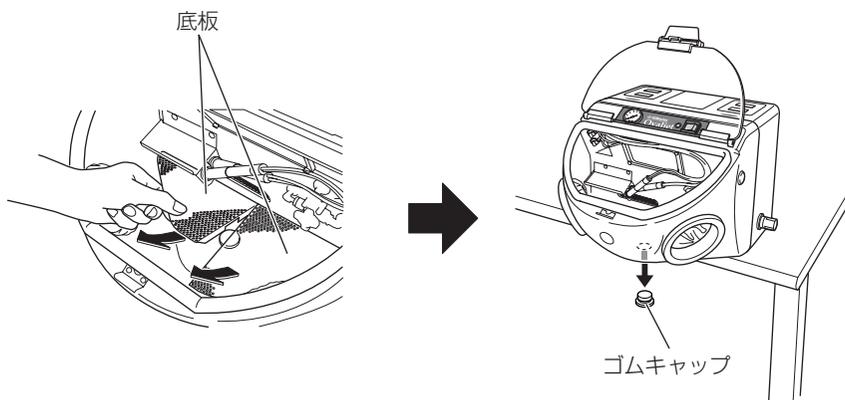
5 保守・点検

- 「保守・点検」についての **⚠ 警告** および **⚠ 注意** を守ってください。

使用済み研磨材の排出

使用済みの研磨材は作業室の底に溜まります。必要に応じて研磨材排出口から排出してください。

1. 作業室内の2枚の底板を外し、研磨材排出口のゴムキャップを取り外してください。使用済みの研磨材が排出されます。



オーバルジェット本体を机から手前に引き出して作業を行うと、容易に排出できます。その場合、本体の転落を防止するため、必ず手で支えてください。

2. 排出した後、研磨材排出口のゴムキャップを元のとおりに取り付けてください。

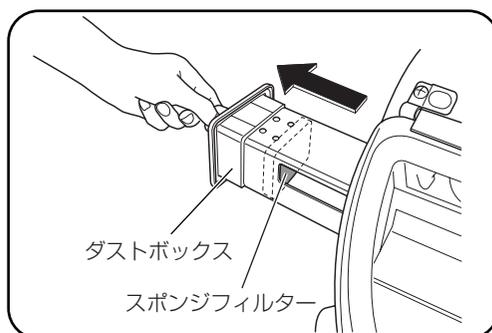


研磨材は使い捨てですので、再使用しないでください。再使用するとごみや異物がノズルに詰まり、故障の原因になります。

ダストボックスの清掃

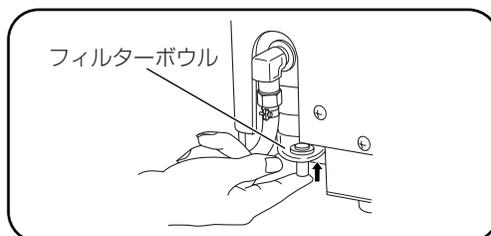
スポンジフィルターが目詰まりすると排気効率が悪くなり、作業室内の視界の悪化、粉塵漏れ、集塵器の過熱などの原因になります。スポンジフィルターは定期的に清掃してください。

1. ダストボックスを本体から引き抜いてください。
2. ダストボックス内に溜まった使用済みの研磨材を捨ててください。
3. ダストボックス内のスポンジフィルターを取り外し、掃除機等を使って清掃してください。
4. スポンジフィルターを清掃した後、元のとおりダストボックスに取り付けてください。
5. ダストボックスを本体に取り付けてください。



エアーフィルターの水抜き

定期的に点検してください。フィルターボウルに水が溜まっている場合は、ボウル下部の突起を押し上げて水を抜いてください。



ノズルとハンドピースの交換

ノズルやハンドピースは、長期間使用すると研磨材によって削られて口径が大きくなります。ノズルの口径が大きくなると研磨性能が低下しますので、必要に応じて交換してください。

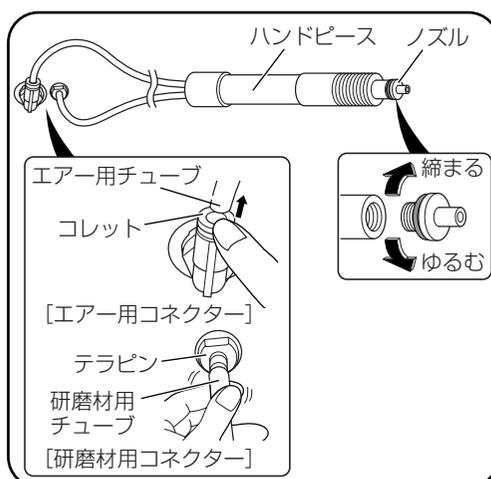
● ノズルの交換

1. ノズルの先端を持って反時計方向に回し、ハンドピースから取り外してください。手で回らない場合は、プライヤーなどではさんで回してください。



注記

必ずハンドピースと同じ色のノズルに交換してください。



2. 新しいノズルを時計回りに回してハンドピースに取り付けてください。
(手で締め付ける程度で十分固定できます)

● ハンドピースの交換

ハンドピースはチューブと一体になっていますので、チューブごと交換してください。

1. エア用コネクタのコレットを押し、エア用チューブ（黒色）を引き抜いてください。
2. 研磨材用コネクタのテラピン付近のチューブを持って、左右に動かしながら引き抜いてください。
3. 新しいハンドピースの研磨材用チューブ（透明）を、テラピンの奥まで確実に差し込んでください。



注記

新しいハンドピースのゴムキャップと同じ色のコネクタに差し込んでください。

4. 新しいハンドピースのエア用チューブ（黒色）を、エア用コネクタに奥まで確実に差し込んでください。



注記

差し込むエア用コネクタの位置を間違えないように注意してください。

シリカゲルの交換

シリカゲルの色を定期的に点検してください。シリカゲルの色は、乾燥しているときは「ブルー」、吸湿すると「ピンク」になります。

シリカゲルがピンクに変色しているときは、新品と交換するか、120～150℃に加熱して再生利用してください。

照明ランプの交換



注記

必ず松風指定のランプを使用してください。指定外のランプを使用すると、過熱するおそれがあります。

品名 : LED 電球

(光色 : 昼光色、全光束 : 320 lm 以上、口金 : E17 相当品)

1. 本体の電源コードのプラグをコンセントから抜き、ランプが冷えるまで待ってください。
2. 照明窓のローレットナットを外し照明窓を取り外してください。
3. 新しいランプと交換してください。
4. 照明窓を元のとおりに取り付けてください。

ゴム手袋の交換

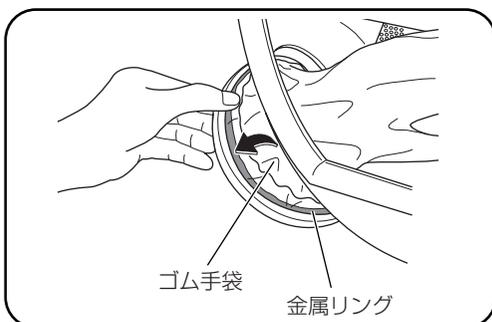
ゴム手袋を新しいものに交換する場合や付属の「腕抜き」に取り換える際は、以下の手順に従って交換してください。

1. 作業室内側から、ゴム手袋のOリング (小) を取り外してください。



2. 本体から手袋取付用ゴムリングを、ゴム手袋と一しょに取り外してください。

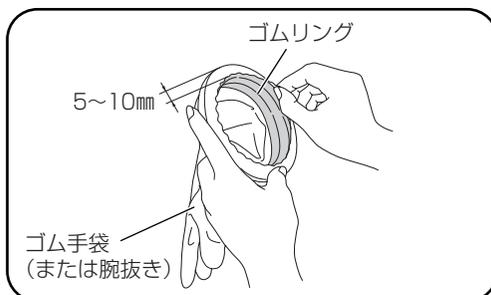
3. ゴムリングから、金属リングとゴム手袋を外してください。



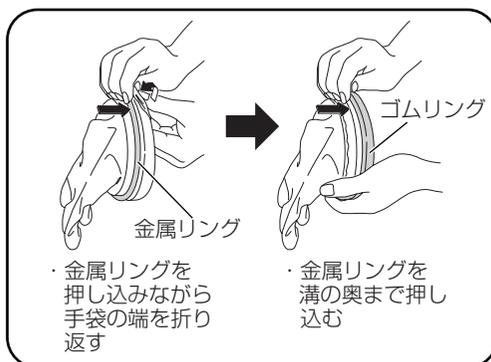
4. 新しいゴム手袋または腕抜きを手袋取付用ゴムリングに被せて、手袋の端が均等に5～10mm程度ゴムリングからはみ出るようにしてください。



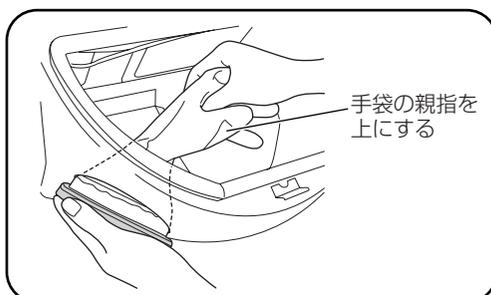
注記 ゴム手袋には右手用・左手用の区別がありますので、注意してください。



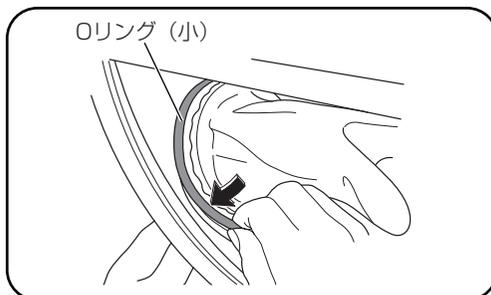
5. 金属リングを手袋側から通して、ゴムリングの溝にはめてください。
6. 金属リングを押し込みながら手袋または腕抜きの端を折り返してください。
7. 金属リングを溝の奥まで押し込んでください。



8. 手袋の親指が上になる位置で、ゴムリングを本体に外側からはめ込んでください。



9. 作業室内側からOリング (小) をゴムリングに取り付けてください。



本体の清掃

水または中性洗剤を使用して、定期的に本体を清掃してください。



注記 シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

6 異常を感じたら

本器を使用中に異常を感じたらただちに使用を中止して、点検・修理を依頼してください。
 なお、修理を依頼される前に、次の表を参考にもう一度点検してください。

症 状		原 因	対 策
電源スイッチを入れても電源が入らない ・電源ランプが点灯しない ・集塵器が始動しない		電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグが抜けていないか確認してください。 100V/10A以上のコンセントをご使用ください。
		本体背面部のヒューズが溶断している	10Aヒューズを交換してください。
照明用ランプが点灯しない		ランプ切れ	ランプを新品に交換してください。 指定のランプを使用してください。
圧力計の針が上がらない		エアーが供給されていない	エアーの元栓、コンプレッサー等を点検してください。
エアーが漏れる	フットコントローラーの接続部で漏れる	チューブの接続不良	チューブの接続状態を点検し、それぞれのコネクタの奥までしっかりと差し込んでください。
	フットコントローラーの内部で漏れる フットコントローラーを踏んでいないのにノズル先端からエアーが漏れる	フットコントローラーのチューブの接続間違い	 印の付いたチューブが白色のコネクタに接続されているか確認してください。
		フットコントローラーの故障	フットコントローラーを新品に交換してください。
研磨材が噴射されない		研磨材タンク内の研磨材が著しく湿っている	研磨材の流動性が悪くなっています。新しい乾燥した研磨材に交換してください。
		研磨材タンクの底部の取込口の周囲に研磨材が無く、空洞になっている	ノズル先端を指でふさいで1~2秒フットコントローラーを踏み、エアーを逆噴射させてください。(空洞が無くなり、研磨材が流れやすくなります)
		ノズルに異物が詰まっている	ノズルを外し、点検・清掃を行なってください。
		研磨材切り替えつまみが中途半端な位置にある	つまみのマークを正しく合わせてください。
		フットコントローラーの異常	フットコントローラーを交換してください。
研磨力が低下した		ノズルの消耗	ノズルを交換してください。
		ハンドピースの消耗	ハンドピース、ノズルともに交換してください。
作業室の視界が悪い		ダストボックス内部のスポンジフィルターの詰まり	スポンジフィルターを清掃してください。
		覗き窓ガラスの汚れ・曇り	覗き窓ガラスを清掃してください。傷付いているときは、覗き窓ガラスを交換してください。

※その他の異常の場合は、使用を中止して点検修理を依頼してください。

7 仕様

型式	SHB-OJ I
電源	AC100V 50/60Hz
電源入力	25VA (集塵器接続時最大825VA)
コンセント容量	800VA (松風L-クリーナー、または800VA以下の小型掃除機用)
最高使用空気圧	0.8MPa
空気消費量	42L/分 [0.5MPa]
研磨材タンク	2槽内蔵 (2L×2個)
使用研磨材	専用ガラスビーズ (最大容量2.5kg) 専用ハイアルミナ (最大容量2.9kg)
ノズル材質	超硬合金製
照明用ランプ	LED電球 (光色：昼光色、全光束：320 lm以上、口金：E17 相当品)
外形寸法	約W450×D495×H307 (mm)
質量	約8.1kg (研磨砂を含まず)

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

8 交換部品

いつも快適にご使用いただくために、下記の交換部品をご用意しています。使用頻度に応じて交換してください。

消耗品/ 交換部品	部品名	形式・定格(備考)	交換時期	入手方法
●消	ノズル ガラスビーズ用(緑) ハイアルミナ用(赤)	(ハイブラスター共用)	研磨材の噴射 が悪くなった とき	松風
●消	ハンドピース (ラバー付き) ガラスビーズ用(緑) ハイアルミナ用(赤)			
●消	ゴム手袋(1双)	(ハイブラスター共用)	消耗破損時	
●消	腕抜き(1双)	(ハイブラスター共用)	消耗破損時	
●消	照明ランプ	LED電球 【仕様】光色 : 昼光色 全光束 : 320 lm以上 } 相当品 口金 : E17	ランプ切れ時 指定品に交換	市販品
●消	スポンジフィルター (オーバルジェット用)	(オーバルジェット専用)	劣化時	松風
●消	オーバルジェット用覗き窓ガラス	(オーバルジェット専用)	破損時	
●交	フットコントローラー (プラスト用)	(ペンブラスター、ハイブラスターⅡ 共用)	破損時	
●交	排気ホース	洗濯機用排水ホース メーカー名: セキスイ (ハイブラスター共用)	破損時	市販品

※「●消」は消耗品を、「●交」は交換部品を示しています。

9 保証について

正常な使用状態で発生した故障については、お買い上げになった日から1年間は無償修理いたします。

ただし、修理の際の消耗品は別途料金をいただきます。

保証期間終了後の修理は、有償修理となります。お買い上げ販売店にご連絡ください。ただし販売終了後5年を経過した器機は、状況によって修理できない場合がありますので、ご了承ください。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

本社●〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)